

三重県中小企業団体中央会

業 種 名		前年同月比				業 種 名		前年同月比			
		売 上 受 注	取 引 条 件	収 益 状 況	業 界 の 景 況			売 上 受 注	取 引 条 件	収 益 状 況	業 界 の 景 況
食料品製造業	漬物	→	↓	↓	↓	卸売業	肥料	→	→	↓	→
	醬油・味噌	→	→	→	↓		◎卸団地(津)	↑	→	↑	↑
	豆腐	→	→	↓	↓	小売業	◎商業(鳥羽)	↓	↓	↓	↓
	日本酒	↑	→	→	→		◎青果(松阪)	→	↓	↓	↓
繊維製品製造業	◎組紐(伊賀)	→	→	↓	↓		自転車	→	→	↓	→
	衣料縫製	→	→	→	→		家電	↑	→	↑	→
	テントシート	↓	→	→	→		石油	↓	→	↓	↓
木材・木製品		↑	↑	↑	↑		スポーツ用品	→	→	→	→
紙・紙加工品	段ボール箱	↑	→	→	→	商店街	◎熊野市	→	↑	→	→
	古紙	↑	→	↑	↑	サービス業	自動車整備	→	→	→	→
印刷		→	→	→	→		宿泊施設	→	→	→	→
窯業・土石製品	生コンクリート	↑	→	→	→		旅行業	↓	→	↓	→
	◎陶磁器Ⅰ(萬古焼)	↓	→	↓	↓		◎飲食業	→	→	→	→
	◎陶磁器Ⅱ(伊賀焼)	↑	→	→	→		警備業	↑	→	↑	↑
金属・一般機器・電気機器・輸送機器	鍍金	↑	→	↑	↑	建設業	総合工事業	↓	→	→	↑
	◎機械器具(四日市)	↑	→	→	↑		内装工事業	↑	→	→	→
	◎機械器具(久居)	↑	→	→	↑		電気工事業	→	→	→	→
	◎機械器具(伊勢)	↑	→	→	↑		◎水道工事業(津)	→	→	→	→
	◎電気機器(鳥羽)	↓	↓	↓	↓	運輸	トラック輸送	↑	↑	→	↑
	◎輸送機器(鈴鹿)	→	→	↓	→	◎不動産(鈴鹿亀山)		→	→	→	→

↑…増加・上昇・好転 →…変わらず ↓…減少・下落・悪化 ◎…地域単位の組合

情報連絡一覧票

(三重県中小企業団体中央会・平成26年1月分)

	集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製造業	食料品	豆腐	原材料や燃料が昨年に比べて高騰しており、収益が悪化している。
	繊維工業	テントシート	多少ではあるが、消費税増税前の駆け込み需要が見受けられる。
	木材・木製品	木材	昨年の秋以降、消費税増税による駆け込み需要と木材利用ポイント制度の影響により、需要が前年同月に比べて増えている。価格も全般的に強含みで推移している。
	紙・紙加工品	紙器段ボール箱	受注は前年並み、あるいは少しプラスになっている。スポット便のトラックの手配が付きにくい地域もある。
		古紙	1月期の仕入重量は前年比、段ボールで98%±4%程度、新聞・チラシで96%±5%程度、雑誌・雑紙等で97%±5%程度で推移している。少子高齢化に伴う人口減少や長引く消費低迷により紙の消費量が減少しており、組合員の仕入状況に地域格差があるものの、消費税増税の影響が全般的に年末年始から回復基調の明るさが見受けられる。
	印刷	印刷	年度末の特に忙しい時期を控え、加えて消費税増税の駆け込み需要に伴う印刷物の変更等、受注量はある程度見込めると思われるが、4月からはその反動に不安感がある。
	窯業・土石製品	萬古焼	燃料（ブタンガス）の高騰に加え、国内原材料の大幅な値上げが予想されるため、商品単価の値上げの検討もやむを得ない状況となってきた。
		伊賀焼	例年であれば正月明けの売上高は芳しくないが、本年度は伊賀焼伝統産業会館及び伊賀・信楽古陶会館ともに好天に恵まれ、売上状況は前年同月と比べてやや増加した。土鍋などの食器、特に薪で焼き上げた作品がよく売れた。 2月には、来館者が見学・体験できる穴窯焼成の行事を予定しており、来館者数の増加を期待している。
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産量は12月に比べ、稼働日数は少ないもののほぼ横ばいで推移している。家電関連部品は依然不調であるものの、自動車関連部品は相変わらず好調であり、半導体関連の生産はますます増加傾向を強めている。 しかし、消費税増税後の4月以降の落ち込みが危惧される。
	一般機器	四日市	組合員の多くは、仕事量は大幅に増えており人手不足を感じるほどであるが、収益が伴わない状況となっている。
非製造業	電気機器	鳥羽	12月後半より少しずつ受注件数が増えつつある。昨年の同時期と比較しても10%前後アップしている。今年はこのまま受注量が増えていくことを期待している。
	輸送機器	鈴鹿	引き続き軽自動車の生産ラインはかなり繁忙のようである。 春以降が商戦シーズンである大型二輪の生産も佳境に入り稼働率は上がっているが、諸物価の高騰、人件費増などにより採算は悪化している。
	小売業	青果	新年を迎え安定を期待していたが、生産地域の天候不良によりほとんどの商品が高値を推移した。冬場の果物であるミカンも多くの在庫が目についた。
		自転車	12月1日より改正道路交通法が施行されたが、超高齢社会の日本において、今後は街づくりを含めて、行政と事業者が一体となって道路設計や交通規制を考えていく必要があると思われる。 1月中旬以降、一部のショップが中学生用の通学自転車の展示販売会を開催したが、新入学生が前年より減少しており、販売台数も伸び悩んだとの報告を受けている。

非製造業	小売業	家電	消費税増税による駆け込み需要で、1月中旬以降売れ行きが活発になってきた。一部の商品においては品薄・品切れ状態になってきている。特に、エアコン、冷蔵庫及び洗濯機の大型商品が伸びており、時期的な商品としては加湿器、空気清浄器が目立っている。3月まではこのような状態が続くと予想される。
		石油	1月期の燃料油の販売数量は全体として前年対比96%前後であり、特に灯油がかなり減少した。原因としては、太陽光発電やオール電化の普及による影響が大きいと考えられる。 自動車燃料油が値上がりしているため、組合員は、暖房等で燃費の安価な燃料として灯油の販売促進に力を入れている。
		スポーツ用品	アベノミクス効果は我々の業界では依然感じられないが、平成30年三重県での高校総体、平成32年東京オリンピック、平成33年三重県での国民体育大会と、大きなイベントの影響により、スポーツ用品の新調や買い替えなど、いくらか官公需が増えてくれればと願っている。
	商店街	熊野	今月開催されたイベント「熊野きのもとさんま祭り」は、熊野市周辺だけでなく県外からも来客があり、昨年以上の盛り上がりを見せた。高速道路の延長効果と「熊野のさんま丸干し」の人氣が盛り上がり結びついたのではないかなと思う。今後は、各事業者が新商品開発を行い、地域ブランドの確立を図って活性化に結び付けることが必要であると感じられる。
	サービス業	旅館	年末年始にかけて曜日の並びがよかったことと好天気が続いたことにより、観光地はどれも活況を呈していたようで、宿泊施設も10日間程度は満員に近い入り込み状況であった。 しかし、次週の3連休は日帰り客が多く、宿泊客の入り込みは低調であったため、1月期全体では前年同月比変化なしと推測する。今後のポスト運営対策や三重県観光キャンペーンに期待したい。
		飲食業	マスコミ等で報じられるように景気回復の兆しが都市部では見えてきたものの、地方の飲食店を取り巻く経営環境は依然として厳しいのが現状である。 かねてから当業界団体が要望していた交際費課税の損金算入が、大企業でも支出した飲食費に限り50%まで可能となる措置が認められたことは、当業界にとって、今後の消費の拡大につながるものとして大いに期待する。
		警備業	年度末を控え、警備員数の人材不足が目立ってきている。
	建設業	総合工事業	平成25年度発注工事は件数、金額ともに微増しているが、資材単価や労務費が上昇しており、利益率の改善には至っていない。
		内装工事業	1月期はそれまでの売上減少の傾向から一転し、前年対比は増加となった。消費税増税前の駆け込み需要が関係していると思われる。組合員はどれも人手不足で忙しい状況である。
		水道工事業（津）	業務量が増加しており、昨年末ごろから工事中の交通整理ガードマンの確保が難しくなっている。
	運輸業	トラック	輸送貨物量は増加傾向で運賃水準もスポット輸送（単発）についてはやや売上増となっているが、燃料価格が高いため収益に結びつかない状況である。

行政庁・中央会に対する要望事項		
集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
紙・紙加工品	古紙	組合員の中に、自動車部品やトラック車両の盗難被害にあった者がいる。事業者にとってこのような犯罪は経営上の多大な損失を被ることになる。法令による更なる厳罰化や犯罪予防の対策を講じていただきたい。
一般機器	四日市	中小企業に対する手厚い支援策を強く推し進めていただきたい。
	伊勢	法人税の減税を早急に望む。財政が厳しいのであれば、税制として不公平となっている大企業における欠損金の繰越控除制度の見直しで対応願いたい。
サービス業	旅館	偽装表示問題の早期決着により、「美し国三重」と期待して三重県を訪れた顧客の信頼を取り戻すことが必要である。 当業界で課題となっている耐震診断や耐震補強工事に対する支援策をお願いしたい。
運輸業	トラック	燃料価格の適正化を図られたい。